

振動センサーについて

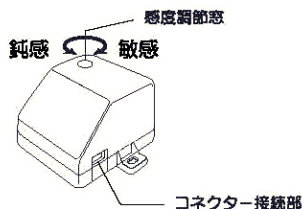
特徴

●2段階の警報が可能

振動センサーに伝わった振動の強弱を自動的に判断し、2種類の信号を出力することが出来ます。これにより、警報機本体が状況に応じた警報を出力します。

●感度調整が可能

センサー上部の調整用ボリュームをドライバーなどで回すことにより、センサーの感度を調整することが出来ます。



時計回り	感度が「敏感」になります。
反時計回り	感度が「鈍感」になります。



注意

調整する際には、力を入れないで軽く回してください。無理に回すと故障の原因になります。調整用ボリュームは1回転(360°)はしません。無理に回すと破損しますのでご注意ください。

本製品の振動センサーは、主に窓ガラスを割られた際に発生する衝撃に対して感知することを想定しております。車両によっては、ボディを軽く叩く程度の衝撃にも反応させることが可能ですが、その場合は犯人に対する威嚇効果を高められる反面、付近を車が通過した時等に発生する外乱振動に対しても反応する可能性が高くなりますので、住宅密集地等、警報音が近所迷惑となるような場所では、適切と思われる感度に設定してお使いください。

参考

設定感度推奨例

運転席あるいは助手席側のガラスを強めに叩いた時に、警戒ランクB(1秒警報)で警報するように感度調整してください。



注意

動作確認の際に車へ振動を与える場合、強く叩きすぎでケガをすることのないようお気をつけください。またガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。万一破損等が発生しても、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

使用上の注意

- 振動センサーの感度を上記のように設定していただくことで、外乱振動による誤動作を大幅に軽減することが可能となりますが、下記のような状況下では、警報してしまう場合があります。
 1. 警戒中に突如、激しい雨が降った場合。
 2. 付近をトラック等、大きな振動を発する車両が通過した場合。
 3. その他、周囲で何らかの振動が発生した場合。
- 頻繁に誤動作(犯人による衝撃以外による警報)を発する場合は、感度を下げるか、「誤動作軽減ステージ」あるいは「ドアスイッチステージ」にて警戒させてください。
- 振動センサーの感度は、車両の大きさやボディの剛性によっても異なります。特にRV車や1BOX車等の大型車では、リアガラス等車両の後部へ加えられた衝撃に対しては十分な感度が得られない場合があります。